



ヴァイオリンと
ハープ
華麗なる
饗宴
名小唄集

2018年

2月8日(木)

松本記念音楽迎賓館

14:30開場 / 15:00開演

4,000円(紅茶付き)

◎プログラム

- C.ドヴェッシー —— 月の光(ハープソロ)
- F.クライスラー —— レチタティーヴォとスケルツォ
Op.6(ヴァイオリンソロ)
- M.ヴィターリ —— シャコンヌ
- J.マスネ —— タイスの瞑想曲
- C.サン=サーンス —— ファンタジー Op.124
- V.モンティ —— チャールダッシュ ほか

お問い合わせ

松本記念音楽迎賓館
03-3709-5951

※ 事前電話申し込み当日清算をお願いします。





Photo: Michiharu Baba

宮崎
陽江
Violon

ニューヨーク州イサカ市生まれ。幼少期をパリにて過ごし、3歳よりヴァイオリンを始め。8歳よりNHK「ヴァイオリンのおけいこ」に半年間出演、以来堀正文、山口裕之両氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業後、同研究科一年修了。同年、ジュネーヴ高等音楽院にてジャン＝ピエール・ヴァレーズ氏に師事し1997年、同音楽院をプルミエ・プリ(一等賞)にて卒業。在学中、モダン・バロック両楽器をハンス＝ハインツ・シュネーベル氏に師事。

以来、日本とジュネーヴの拠点を生かし、欧州と日本を繋ぐ活動を展開。主要音楽祭に多数参加すると同時に、音楽DVD「源流を求めて」シリーズは衛星チャンネル・クラシカジャパンにて放送され、好評を博す。国内外でのソリストとしての活動は多岐にわたり、これまでにソリスト・ド・ジュネーヴ、ジュネーヴ室内管弦楽団、バス・ノルマンディー管弦楽団、スロヴァキアフィルハーモニー管弦楽団、北東ドイツ管弦楽団、デュッセルドルフ管弦楽団、チェコフィルハーモニー管弦楽団、国内では東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、読売日本交響楽団等と共演、また、矢崎彦太郎、秋山和慶、大友直人、レオシュ・スワロフスキー等名匠との共演を果たしている。

室内楽奏者としての活動も広く、師であるヴァレーズらとフランスの優れたピアノ五重奏曲の発掘・録音を行ったり、自らの室内楽グループ Yoe Productionsの活動として、同メンバーとの日本公演ツアーを行うなど、精力的に活動。また、編曲・作曲も手掛け、6枚目のCDには自作曲も収録。国内外の反響を呼んでいる。

東京生まれ。3才半より桐朋学園子供の為の音楽教室にて音感教育、ピアノを始める。田園調布雙葉学園(幼・小・中)より桐朋学園女子高等学校音楽科へ進む。ハープをヨゼフ・モルナール氏に、指揮法・演奏解釈を故 斎藤秀雄氏に師事。オランダ国際ハープウィークにて演奏。1974年スイス・ジュネーヴ国際音楽コンクール入選。桐朋学園大学ディプロマコースを経て、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。以後12年間首席奏者を務める。1977年フランス第1回マリー・アントワネット・カザラ国際ハープコンクール第4位入賞。1997年より8年間桐朋学園大学音楽学部の講師を務める。現在、イルミナートフィルハーモニーオーケストラ首席ハープ奏者。ソロ及び室内楽演奏活動の他、国内主要オーケストラ及び外来オーケストラのエキストラ奏者としても活躍中。日本演奏連盟会員。日本ハープ協会理事。有限会社アルページュ音楽事務所取締役。共著に『オーケストラの秘密』(学研)、『バレエの秘密』

Harpe
山口
裕子



松本記念音楽迎賓館

- 東急田園都市線「二子玉川」駅 東口4番乗り場
東急バス [玉31]「成育医療センター」行き
または [玉32]「美術館」行き
所要時間：20～25分
バス停「岡本三丁目」下車徒歩5分
 - 小田急線「成城学園前」駅 南口2番乗り場
東急バス [都立01]「都立大学駅北口」行き
所要時間：15～20分
バス停「岡本三丁目」下車徒歩5分
- 住所：東京都世田谷区岡本 2-32-15
電話：03-3709-5951

